

CASBEE®-建築(新築)

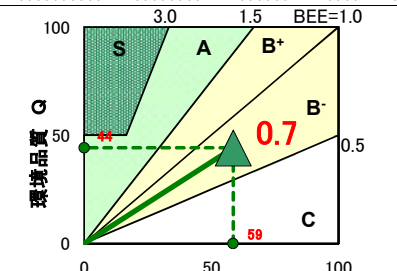
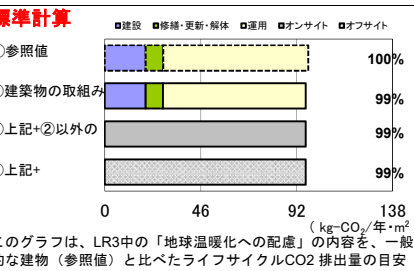
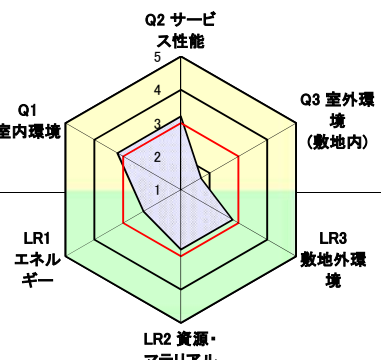
評価結果

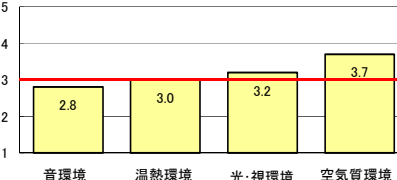
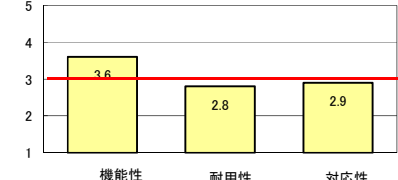
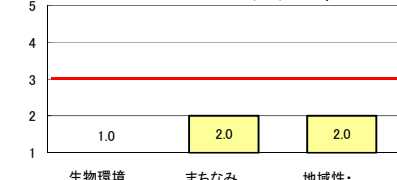
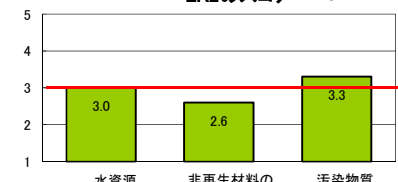
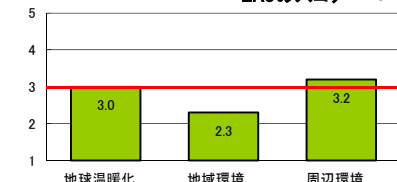
■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 尼崎市昭和南通7丁目計画	階数	地上15F
建設地	兵庫県尼崎市昭和南通7丁目186-	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	86 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年8月8日
敷地面積	470 m ²	作成者	UrbanoDesign 安松高志
建築面積	197 m ²	確認日	2024年8月8日
延床面積	2,349 m ²	確認者	UrbanoDesign 安松高志



ださい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.7 ★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★  環境効率 BEE	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+  ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	 Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境 (敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2  音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2  機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 1.7  生物環境 まちなみ 地域性
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.3  建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8  水資源 非再生材料の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.6  地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合 敷地内に植栽を配置することによって環境に配慮している。	その他 特になし	
Q1 室内環境 遮音性能を高めて、室内環境に配慮している。	Q2 サービス性能 高度情報通信設備に対応している。	Q3 室外環境 (敷地内) 防犯カメラを設置して、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル ノンフロン型吹付硬質ウレタンフォームA種1Hを採用している。	LR3 敷地外環境 特になし

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される